



Wi-Fiなどを完備した自習室

無料自習室が学生に人気 建築会社が会議室を開放

住宅建築やリフォームなどを手がける㈱ELハウジングカンパニー（東和泉4-8-1）が、地域貢献の一環として和泉多摩川駅近くの本社ビルに学生向けの自習室を開設、今年4月から市内の中学生以上の学生に無料で貸し出し人気を集めている。

自習室は同社3階の会議室約50㎡で、会議用の長机に仕切りを付けたほか、パソコンやタブレットを使えるようWi-Fiやコンセントなどの電源、空調も完備している。現在10席だが、近日中に12席にする予定という。利用できるのは市内在住または市内の学校に通学する中学生から大学生で、事前登録が必要。利用時間は原則として午後3時～9時（学校休業、試験前などは1時から）、日曜日と社員が不在の時は利用できない。利用できる日は同社のInstagramで確認できる。自習室での私語や

通話、飲食は禁止（水分補給の飲み物は可）。登録の受け付けは同社で随時行っている。登録申請書はホームページ（二次元コード→）



同社によると、（会社の）業務が住宅建設やリフォームが主体で、若い人と交流する機会がほとんどなく、子育て中の社員から「子どもの居場所や集中して勉強できる場所が街中に少ない」などの声を聞き、あまり使われない会議室を活用する計画が持ち上がり、自習室に使えるよう仕切りを作るなどの環境を整えたという。

問い合わせ ☎3488-8181 ELハウジングカンパニー。

20日夜に灯ろうまつり 多摩川河川敷に数百基

夏の風物詩として親しまれている多摩川灯ろうまつり（多摩川灯ろうまつり実行委員会主催、狛江市観光協会後援）が20日（金）午後6時30分から多摩水道橋下流の河川敷で催される。

世界平和と環境保全を願って毎年催されており、河川敷を灯ろう数百基が彩る。灯ろうは1基1,000円で、19日（木）まで市内6カ所の寺院と泉の森会館で申し込



昨年の灯ろうまつり

みを受け付けるほか、会場でも当日午後4時から6時まで受け付ける。雨天の場合は21日（土）に順延。問い合わせ ☎3489-8440 圓住院内灯ろうまつり実行委員会。

救急車を呼ぶか迷ったら #7119や救急受診ガイド

猛暑による熱中症等で救急要請が増える夏。

狛江消防署では、救急車を呼ぶか迷った時はいつでも対応している「#7119」（東京消防庁救急相談センター）や「東京版救急受診ガイド」のサービスの利用を呼びかけている。

「#7119」では医師や看護師などによる相談医療チームが傷病の緊急性を判断して適切なアドバイスを行う。

また、インターネットで相談できる「東京版救急受診ガイド」では、新たにAIを搭載、病気やケガの緊急性や受診の必要性、医療機関の案内、現在地から医療機関へのルートも表示する。

問い合わせ ☎3480-0119 狛江消防署。

猪方の畑で親子農業体験 JAマインズが10組募集

JAマインズが農業体験「親子でアグリ」の参加者を募集している。都市農業への理解と食農教育を目的に催しており、猪方3-9の畑でジャガイモ、大根、白菜を栽培して収穫する。日程は9月12日（土）施肥、畝づくり、ジャガ

イモ植え付け、10月10日（土）除草作業、大根・白菜種まき、11月28日（土）収穫・片付けの3回（天候などで日程変更の可能性あり）。初回は午前9時に畑へ集合。参加費は1世帯1,000円（傷害保険代、種子・肥料代など）。対象は狛江市在住の幼児・児童とその保護者で定員10組（応募多数の場合抽選）。

希望者は8月20日（金）までに電話・ファックスで申し込む。

申し込み・問い合わせ ☎3488-3435 FAX3488-2830 JAマインズ狛江支店 経済指導部門。

ミニ新幹線に子ども歓声 西河原公民館で乗車会

西河原公民館でミニ新幹線の乗車会が7月5日（土）に催され、訪れた親子連れなど約320人が楽しんだ。

子どもや若者にもっと西河原公民館に親しんでもらおうと同館が企画したもの。3階多目的ホールに楕円形に敷いたレールの



公民館ホールを走るミニ新幹線

こまえくぼ 1234 市民活動支援センター からのお便利

ここに掲載している情報については市民活動支援センターへお問い合わせください。

ボランティア体験イベント

ボランティア活動の入口として参加できるプログラム

■切手ボラ

24日（土）午後1時～2時30分市民活動支援センター（こまえみらいテラス内）。集められた使用済み切手の整理を行う。ハサミを使って使用済み切

上を実物の10分の1の東北・北海道新幹線の「はやぶさ」が力強く走り、2両の客車にまたがった子どもたちは歓声を上げながらつかの間の旅行気分を味わっていた。

狛江の初夏の味に人気 えだまめ祭りに行列

「えだまめ祭り」（狛江市都市農政推進協議会主催）が狛江市役所市民ひろばで7月6日（土）と8日（日）に開かれた。

狛江の初夏の特産品として親しまれている新鮮な枝豆が通常より安く買えるため、例年人気を集めている。今年は天候に恵まれ豆がしっかりと育ったという。2日間で昨年より200袋ほど多い1,200袋を用意したが、開始前から販売テントの前に長い行列ができ、両日とも用意した枝豆は20



狛江特産の枝豆が人気

狛江市市民活動支援センター 〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5 こまえみらいテラス内 ☎5761-5556 FAX5761-5033 M casc@welfare.komae.org 開館時間＝午前9時～午後5時 休館日＝第1・3火曜日、年末年始



手を整えたり、仕分けたりするなど簡単な作業をするボランティア活動。■おりがみボラ 5日（土）、9月2日（土）午後2時～3時30分市民活動支援センター（こまえみらいテラス内）。折り紙を習ったり、教え合ったりする。習った折り紙を地域で教えるボランティア活動にも生かしている。

お知らせ

■地域のイベントや情報を知りたい

数分で売り切れた。

老人ホームがものづくり講座 入所者と地域の交流めざし

介護付き有料老人ホーム「SOMPOケア ラヴィーレ狛江」（西野川3-4-3）が季節の飾りづくりの講座を8月28日（土）から始める。

地域交流型レクリエーションとして、創作活動を通じて季節を感じ、居住者と地域の人と世代を越えた交流やつながりをつくるのが目的。開催は毎月第4金曜日で時間は午前10時から午後3時（休憩1時間）。参加は無料だが、作品を持ち帰る場合は材料費300円が必要。募集するのは中学生以上の5人。

同施設では福祉・介護・看護に携わる職員の参加も募集しており、新たな交流の輪を広げたいと参加を呼びかけている。

問い合わせ・予約は ☎5497-4165 ラヴィーレ狛江。

【訂正とおわび】「わっこ」7月号掲載の狛江要約筆記サークル「こまくさ」の記事において、同会の活動内容および要約筆記に関する説明に事実と異なる記載や誤解を招く表現がありました。また、「連係入力」の表記にも誤りがありました。おわびして訂正いたします。（編集部）



ときは市民活動支援センタースペースにはイベントや講座、ボランティア情報など、地域の役立つ情報がたくさんある。だれでも手に取ることができるチラシも置かれている。ぜひ、気軽に立ち寄って活用してください。

市役所で夏休みラジオ体操会

「狛江夏休みラジオ体操会」が7月21日（土）から狛江市役所市民ひろばで開かれている。「狛江市・市民ひろばラジオ体操会」（吉田栄代表）が主催しているもので、8月31日（土）まで毎朝6時20分から40分に実施する。

事前申し込みなしでだれでも参加でき、定員は先着200人。動きやすい服装と運動靴で直接会場へ。参加者はスタンプを押印、スタンプの数に応じて皆勤賞や努力賞、参加賞をプレゼントする。

同会には現在約70人の会員が所属、地域の健康維持と多世代交流の場として平成11年からコロナ禍を除き年間を通して毎朝、市民ひろばで体操を続けている。

同会では「夏休み中の子どもたちが規則正しい生活を送るため」に是非参加を」と呼びかけている。

問い合わせ ☎090-8047-9967 野田さん。



ラジオ体操会

スポーツ